

チアジニル水和剤 ブイゲットフロアブル	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： 日農
成分： チアジニル……………30.0 %	性状： 淡褐色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 稲をいもち病にかかりにくくする新しい作用性(病害防御機能の増強)を有している。
- 側条施用により、ブイゲット粒剤の本田水面施用と同等の効果を示す。
- フロアブル製剤なので、希釈せずにペースト肥料に直接混和できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 本剤をペースト肥料と混合して側条施用する場合に次の事項に注意する。
 - 本剤をペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機で本田に施用する。
 - 使用量に合わせ秤量し、使いきる。また、本剤と混合したペースト肥料は、速やかに使用する。
 - 同一の病害を防除対象とする育苗箱施用薬剤とは併用しない。
 - 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきは丁寧に行い、移植

後は湛水状態（水深3～5cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないように水管理に注意する。

○軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意する。

- 本剤を稲（箱育苗）に使用する場合は次の事項に注意する。

○育苗箱の上から所定量の希釈薬液を均一に灌注する。

○薬害が生じるおそれがあるので、稚苗稲には使用しない。

○中苗稲に使用する際は、軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合は、薬害を生じるおそれがあるので注意する。

○きく等の他作物に影響を及ぼすおそれがあるので、その他の作物の栽培予定がある場所では使用しない。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。

【適用と使用法】……………

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病	25～50倍	育苗箱 (30×60×3cm, 使用土壌約5ℓ) 1箱当り500ml	移植3日前～移植当日	1回	灌注	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
	白葉枯病 もみ枯細菌病	50倍				ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	3回以内 (直播での場合は種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
稲	いもち病	原液	400～500ml/10a	移植時			